

社会資本整備審議会 道路分科会 平成 29 年度第 2 回中国地方小委員会  
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 29 年 8 月 22 日（火）13:30～15:45

2. 場 所

中国地方整備局 建政部

3. 出席者

<委員>

◎<sup>ふじわら あきまさ</sup>藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

<sup>こいけ あつし</sup>小池 淳司 神戸大学大学院 工学研究科 教授

<sup>すざき はるな</sup>鈴木 春菜 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

<sup>ふくだ きょうこ</sup>福田 京子 地域づくりネットワーク 代表

<sup>やまだ ともこ</sup>山田 知子 比治山大学 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教授

敬称略、◎委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

山陰道 <sup>こはま たまがわ</sup>(小浜～田万川)

山陰道 <sup>おおい はぎ</sup>(大井～萩)

5. 結論

- ・山陰道（小浜～田万川）の対応方針（案）である優先区間に「須子～小浜」を追加することを了承する。
- ・今後手続きを進めるうえで、同様のアンケートが繰り返されていることから、「須子～小浜」の第 1 回意見聴取の必要性については再検証すること。
- ・山陰道（大井～萩）の対応方針（案）及び第 2 回意見聴取することを了承する。
- ・なお、第 2 回意見聴取の質問内容については、正当性が保たれるよう工夫すること。

## 6. 委員からの主な意見

### ○山陰道（小浜<sup>こはま</sup>～田万川<sup>たまがわ</sup>）

- ・優先区間を「須子～田万川」と区間延長した場合に、事業規模や予算の観点から、国交省として実施可能な事業規模なのか整理すること。
- ・そもそも、山陰道はいずれの区間も防災上や代替性の確保、国幹道としてのネットワークの観点から重要な区間であるため、山陰道全体でルート帯を議論した後、個別区間を議論した方が効果的・効率的であると考えます。
- ・同じ地区で同様なアンケートを繰り返さないですむように、手続きの進め方を検討いただきたい。
- ・自由意見にある事業に否定的な意見についても、分析・対応をお願いする。

### ○山陰道（大井<sup>おおい</sup>～萩<sup>はぎ</sup>）

- ・各ルート帯案とも公平に評価されるよう、また各案の差別化が図られるよう検討すること。
- ・山陰道の整備に際し、自専道バイパス案と一般道現道改良案を並べて意見聴取することに違和感がある。道路のサービスレベルは意見聴取ではなく、専門家の見知から判断するものと思う。
- ・現道改良案は萩市街地を縦断しており、日常生活としての都市機能を維持する観点から、都市計画等の関係部局とも協議し検討を進めること。